

常に考えるのは

子どもたちの幸せ。

教員として学び、

挑戦し続けたい。

中国・蘇州日本人学校 教員(愛知県公立学校教員)

川本 大介さん

愛知淑徳大学文学部英文学科を2001年3月に卒業。
愛知県公立学校教員として中学校や小学校に勤務。
文部科学省の在外教育施設派遣教員採用試験に合格し、現在は中国・蘇州日本人学校にて教鞭を執る。



夢の実現に向かって、 充実した学生生活を送る。

「教員になりたい」という夢を実現すること、興味があった英語を学ぶこと、その両方をかなえるため文学部英文学科(現：総合英語学科)に入学しました。教職課程科目を履修し、教育原理や教育心理などを学修するとともに、日本文化と英語圏の文化の違いや和製英語について研究。英語科教員に必要な専門知識や教授法などを身につけました。また、在学中は男子バスケットボール部に所属。学部や学年の枠を越えて多くの仲間と交流を深め、大学生活がさらに充実したものになりました。先輩や後輩たちとのつながりは、今も続いています。

卒業後は出身地である山口県の教員になろうと考えていましたが、愛知県公立学校教員の道へ。転機になったのは、4年次に力を注いだ「心の教室相談員」としての活動です。愛知県内の中学校で生徒の相談に応じ、一人ひとりと向き合う姿勢を学びました。その中学校で非常勤講師として働くことを決め、英語科教員として一歩ずつ経験を積み重ねていきました。

教員の力を磨き、 チャレンジし続ける。

愛知県内の中学校で常勤・非常勤講師として勤務し、学級担任にも挑みながら指導力や実践力を鍛えました。そしてオーストラリア留学で英語に磨きかけた後、教員採用試験を突破。学級担任のほか生徒指導主事、学年主任、バスケット顧問などを務め、さまざまな側面から多くの生徒

と向き合っていました。そんな教員生活の中、小学校・中学校両方の現場に立つことで児童・生徒のよりよい教育を追求したいと考え、小学校教諭2種免許状を取得。結婚し、子どもが生まれたことがきっかけで仕事と家庭の両立を重視するようになったこともあり、休日に部活動のない小学校での勤務を希望しました。

教員となって約20年のキャリアを重ねた今、新たな挑戦をしています。在外教育施設派遣教員として中国に渡り、蘇州日本人学校で小中一貫教育に携わっています。海外での経験を今後に活かし、子どもたちの人生の基盤づくりに貢献したいと決意を新たにしています。「目の前の子どもたちを幸せにするために何ができるか」を常に考え、一人ひとりの成長を支えていきます。

愛知淑徳で学ぶみなさんも、視野を広げてさまざまな人と互いの違いを尊重し合い、個性や可能性を大きく伸ばしていってください。



在学中、人脈を広げる場になったバスケット部。4年次にはキャプテンを務めました。



蘇州日本人学校では小学4年生担任と担任を兼任。教材研究に力を入れています。